令和元年度進行管理・評価シート

高野町歴史的風致維持向上計画(平成31年1月24日認定)

(最終変更令和2年3月24日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1) 1 計画の推進体制		1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2) 1 高野町景観計画		2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(検	式1-3)	
1 まちづくり調査(整備方針・事業計画策定)		3
2 高野·熊野参詣道保存管理事業		4
3 史跡金剛峯寺境内(奥院地区)大名墓総合調査		5
4 文化財保存活用地域計画策定事業	•••••	6
5 情報発信機能整備事業	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	7
6 交通系ICカード導入支援事業	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	8
7 観光案内標識の充実整備事業(統一化)		9
8 高野参詣道案内•誘導板整備事業	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	10
9 歴史的まちなみ整備事業		11
10 郷土民俗芸能等支援事業		12
11 高野山学推進事業		13
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用に関する取り組み		14
2 文化財の修理(整備)に関する取り組み		15
3 文化財の防災に関する取り組み		16
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取り組み		17
5 埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み		18
6 各種団体の状況及び今後の体制整備に関する取り組み		19
		. •
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 高野町の歴史まちづくりに関する報道		20
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 景観に対する住民の満足度		21
· 25 -50 -711 / WILLPATTING / C.		
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	22

評価軸①-1 組織体制 項目 現在の状況 □実施済 計画の推進体制

計画に記載 している内容

歴史的風致維持向上を推進するため、行政や文化財の関係者、関係団体、学識経験者などによる高野町歴 史町づくり協議会での意見を踏まえるとともに、本計画に関連する課室の課長、担当職員で高野町歴史的風 致維持向上庁内推進委員会を設置し事業の推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野町歴史的風致維持向上庁内推進委員会を開催、庁内における各事業の実施、進行管理及び連絡調整を実施

実施回数: 1回

高野町歴史まちづくり協議会を開催し、各事業の方針、進捗状況の報告、事業評価における意見聴取などを実施

実施回数: 1回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

高野町歴史的風致維持向上計画 推進体制

提案

意見

【高野町歴史的風致維持向上計画推進委員会】

- ·企画公室(企画·調整)
- ・総務課(公共施設)
- •教育委員会(文化財)
- •観光振興課(観光)
- •建設課(各種事業)
- •生活環境課(水路事業)
- ·消防本部(防火)



- ·高野町文化財審議会
- ·高野町景観審議会
- •文化財所有者•関係団体

【高野町歴史まちづくり協議会】

- •学識経験者
- 歴史的建造物所有者
- •関係団体、機関
- •行政(和歌山県、高野町)



(国)

- •文部科学省
- •農林水産省
- •国土交通省
- •和歌山県



推進委員会の様子



協議会の様子

景観計画
■実施中
□未着手
るため全町域が暑観計画区域に指定されている。暑観法に其づく居出が

高野町は、豊かな自然と文化を守るため全町域が景観計画区域に指定されている。景観法に基づく届出が必 計画に記載 要な行為及び基準が定められ、一定規模以上の建築物・工作物等の開発に対し良好な景観を形成するよう規 している内容 制している。

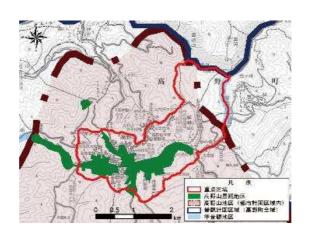
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1200年の歴史を持つ高野山には国宝をはじめとする美しい日本建築が多数存在します。その歴史、文化を受け継ぐ街なみ、美しい景観を守り、発展させていくため、届出制度並びに美しい街なみ景観整備事業対象事業補助金の活用等により、良好な景観形成を推進している。

令和元年度 景観計画区域内における届出件数: 41件

令和元年度 美しい街なみ景観整備事業補助金利用件数: 2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 平成20年に景観条例を制定、平成21年3月に高野町景観計画を策定した。良好な景観 ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない □計画どおり進捗していない ある。



高野町景観計画区域図

事業期間 令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

重点区域内において歴史的建造物が点在する中、特に集中している地域の道路美装化、公園整備、歴史的 計画に記載 建造物の修景整備などを順次行い、高野山内の周遊観光の資源にするため、地域住民や関係団体の意見な している内容 ども反映しながら総合的な整備方針、事業計画を策定する。

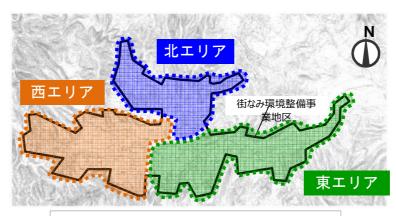
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点地区の一部に街なみ環境整備事業地区を設定、3つのエリアに分け、各エリアについて調査、整備方針・並びに事業 計画の策定を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	事業を実施するにあたり、当該地区住民への説明会等を開催し、住民や関係法人と一体となって歴史的な街なみを作り上げていくことが必要



街なみ環境整備事業地区



街なみ環境整備事業調査エリア図

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	,
評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
高野·熊野参詣道保存管理事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 令和元年度~令和10年度

町単独事業

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金 和歌山県文化財保護費補助金

和歌山県世界遺産緊急保全対策事業補助金

している内容

各参詣道の保存活用を図るため日常的な保守点検、環境整備及び参詣道が損傷した場合の速やかな修繕を 計画に記載実施するなど適切な管理を推進する

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野・熊野参詣道の保存管理については、月1回及び荒天後のパトロールの実施と日常的な環境整備を行っている。 参詣道で発生した倒木除去や木橋の補修等の緊急的な参詣道の修繕を実施し、参詣道の良好な環境を維持している。 倒木除去:1件(三十三町石付近)

木橋修繕:4件(十三町石付近、十六町石付近、十八町石付近、二十町石付近)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	参詣道の良好な環境を維持するため、定期的なパトロールを継続するとともに、経年劣化等の状況を把握し、破損箇所等の計画的な修繕の実施に努める。

状況を示す写真や資料等

高野参詣道町石道(三十三町石付近)倒木除去作業



倒木状況



倒木除去作業状況



町石道 倒木除去後

事業期間 平成28年度~令和6年度

支援事業名 町単独事業

史跡金剛峯寺境内であり、史跡高野参詣道町石道が通っている奥院地区の適切な管理、効果的な活用のた 計画に記載 めには、地区内に存在する数多くの大名等の墓所の把握、価値付けが必要である。

| 計画に記載 めには、地色がに行任する数タ、の人名等の墨所の記述、画値が行が必要である。 している内容 各藩主や戦国大名について、墓所の位置、構成、墓石の銘文などの調査を行うことにより、奥之院の墓所の内 | 容を明らかにする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

奥之院に所在する大名墓のうち、大名クラスの石塔約650基を対象に銘文の調査を開始、今年度約170基の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	奥之院に所在する石塔のうち、まずは大名クラスの石塔を対象として、銘文調査を継続的に実施し、全体の調査が完了した段階で報告書を刊行する



松平秀康及び同母霊屋



豊臣家墓所

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項	
評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況
文化財保存活用地域計画策定事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 令和元年度~令和5年度

町単独事業

支援事業名文化遺産総合活用推進事業(文化財保存活用地域計画)

高野町の各種歴史的文化的資源の適切な関知・活用のため文化財全般にわたる基礎調査や台帳整備等が

必要である。

計画に記載文化財保存活用地域計画を策定し、高野町の歴史文化の振興及び地域活性化を推進する。また、得られた情 している内容 報はホームページ等の活用やシンポジウム等の開催により町内外の人々に適切な情報発信を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保存活用地域計画策定のため、町内に所在する文化財の内、建造物を対象として調査を実施。 今回の調査は、全体把握のための簡易調査で令和2年1月末時点で約1,200件の建造物の調査を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
		各種未指定文化財の調査を実施し、把握の上、そのデータを活用して地域の文化財の 適切な保存活用に努める。



相ノ浦地区所在社寺建築



細川地区所在駅舎(紀伊細川駅)



調査状況

事業期間 平成30年度~令和10年度

町単独事業

支援事業名 旅行環境整備事業費補助金

(地方での消費拡大に向けた旅行環境整備支援事業)

訪れた観光客や地域住民などに観光情報センターやICT等を活用し、歴史や文化、観光、各種イベントなど、 計画に記載 各種情報提供を幅広く発信していくために、観光情報センターでの展示、Wi-Fi環境の整備、ホームページの充 している内容 実、多言語情報発信ツールなどの情報発信機能整備を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野山観光情報センターを整備、平成30年7月2日開館

平成30年度来館者数 57,489名

令和元年度来館者数 81,310名 計 延べ138,799名

サイネージ整備:2器、展示物の多言語化、タブレット設置:4台、QRトランスレーターの導入

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない

年々歳々行われる法会等を説明する多言語化資料の作成が必要

状況を示す写真や資料等





サイネージ(2器)の整備 高野山のPR映像 月間の行事予定 を発信





展示物の多言語化

パネルについては、日本語及 び英語で表記

他の言語については、QRトランスレーターを導入し、中国語(繁体字)、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語に変換。



パンフレットラック



タブレット(4台)整備 情報収集、多言語対応で利用



JNTOカテゴリー2の観光案内所

三 評価軸③-6 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 令和元年度 現在の状況 項目 ■実施済 交通系ICカード導入支援事業 口実施中 □未着手

事業期間 令和元年度

支援事業名 町単独事業

重点区域内を運行する路線バスは、道路幅が狭いため片側車線を塞いだ形で停車し停留所での乗降を行って 計画に記載 している内容より、乗降時間の短縮が図られ、渋滞緩和に繋がることが期待されるため、ICカード導入事業を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業主体南海りんかんバスが利用する全国相互利用対応交通系ICカードの利用可能システム導入など一式の整備事

(令和元年度訪日外国人旅行者受入整備緊急対策事業補助金)に対する関係市町村負担金分の補助を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 口計画どおり進捗していない



県道高野天川線渋滞の様子(2018.9.23撮影)

<u>進捗評価シート</u> (様式1-3)

事業期間 平成30年度~令和10年度

町単独事業

支援事業名 観光施設施設整備補助金

地域観光資源の多言語解説整備支援事業

これまで各種事業により整備を行ってきたが、表記方法や意匠が統一されていない。そのため、ユニバーサル 計画に記載 している内容 せの整備など総合的に検討、関係団体との連携を図りながら、統一感のある看板などの整備を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

観光案内標識整備(高野山統一多言語案内標識)

高野山観光情報センター前に地図をベースとした多言語案内標識を設置。

設置数:1基

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない 備整備を進めて行く。



高野山観光情報センター前多言語案内標識

(様式1-3) 進捗評価シート

評価軸③−8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 口実施済 高野参詣道案内‧誘導板整備事業 ■実施中 口未着手

事業期間 平成30年度~令和10年度

町単独事業

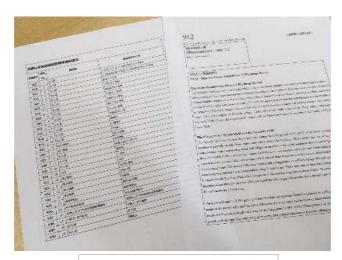
支援事業名 地域観光資源の多言語解説整備支援事業(平成30年度~令和元年度)

山中の参詣道を巡る参詣者や観光客の視点に立ち、迷うことなく巡れるよう案内板や誘導板の整備を行う。近 計画に記載年増加している外国人観光客にも対応できるよう統一されたデザインや多言語表示などの整備を進める。 している内容

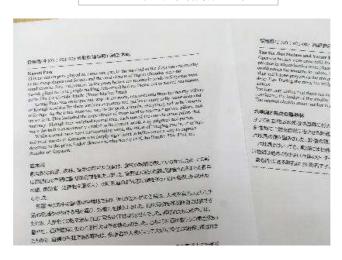
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成30年度 高野参詣道女人道を中心に、英語表記の原文作成。 令和元年度 高野参詣道町石道の英語表記の原文作成。

進捗状況 ※計	両年物とのおけ	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
進沙水ル 冷部	当十次との別心	大心(民間にめたっての味噌に対心力が、自由に近)
■ ましま じょうしんせい	1	京取名記学は中時も世界実立では、2000年もマン1181万が異様々はにももできた。
■計画どおり進捗	している	高野参詣道は史跡や世界遺産登録に登録されており関係部署が多岐にわたるため、
口計画どおり進捗	1 711+11	関係者協議を行いながら事業を進める。
II IETIMIとわりiEtimi	1.(1.1/41.)	学 茶石 純



平成30年度 多言語解説成果品



令和元年度 多言語解説成果品

三 評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項 評価対象年度 令和元年度 現在の状況 項目 □実施済 歴史的まちなみ整備事業 ■実施中 口未着手

事業期間 令和元年度~令和10年度

町単独事業

高野町の主要な観光地である高野山地区では、多数の外国人観光客が史跡や寺院巡りなどの街歩きを楽し

計画に記載 している内容 町や町民、寺院等が連携し、歴史文化を生かした観光振興を図るため、歴史的な街並みを阻害する建築物等 の美装化を実施し、外国観光客の満足度向上やインバウンドの促進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業主体:(宗)金剛峯寺 (高野町:補助関係事務)

徳川家霊台木柵改修工事(令和元年度) 実績 H=1m×L=140m

老朽化や転倒により景観を阻害していた、史跡金剛峯寺境内「徳川家霊台地区」の景観改善がなされた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	関連する他の補助事業との調整を図りながら、該当事業を進めて行く。

状況を示す写真や資料等

令和元年度 徳川家霊台木柵改修工事



施工前



施工後

事業期間 令和元年度~令和10年度

支援事業名 町単独事業

高野町の各種民俗芸能の保存伝承のため、(必要に応じて)学識経験者等の指導・助言を得ながら、用具の維 計画に記載 持管理と後継者指導育成などの活動事業費の補助や必要に応じて調査研究を行うとともに民俗芸能等に関す る記録を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野町の各種民俗芸能の維持のため、関係団体の活動や用具の修繕に対して補助の実施。 令和元年度対象団体数 2団体

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	民俗芸能を実施する団体の活動を支援することで、民俗芸能の維持伝承に努める。



天狗の舞保存会 活動状況

事業期間 令和元年度~令和10年度

支援事業名 町単独事業

高野山学は歴史と文化によって育まれた「高野山」を体系的に学び、再発見することを目的とする。 計画に記載 弘法大師空海が開創して以来、高野山は真言密教の聖地として独自の文化を創り、今日まで継承してきた。そ している内容 の文化を歴史・思想・芸術・信仰・自然・政治・建築などのさまざまな視点で学ぶことができる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野山を体系的に学び、その魅力を再発見してもらうため、様々な分野にまたがる内容の講座を開催 令和元年度開催回数:13回(延べ 1,534人が受講)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) ■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない 高野山が育んできた文化を様々な視点から学び、その魅力を再認識していただくための講座を開催することで、高野山の魅力を発信していく。



平成31年度 高野山学チラシ

(様式1-4) 進捗評価シート

4)-1

文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 □実施済 文化財の保存・活用に関する取り組み ■実施中

口未着手

計画に記載 している内容

文化財は指定・登録の有無を問わず調査を行い、価値が判明したものについては、町指定や国の登録制度な どの活用、または歴史的風致形成建造物や町景観重要建造物の指定を検討するとともに、適切な保存管理や 活用が図られるよう、計画的に修理・整備や耐震補強等の防災対策等を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の適切な保存管理や活用を図るため、町内全域の建造物の調査を実施しており、現時点で約1,200件の建造物の 調査を終えている。また、奥之院に所在する多数の石塔のうち、大名クラスの石塔を対象として銘文調査を進めており、約 170件の調査を実施した。

これにより、文化財の適切な保存活用に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している 口計画どおり進捗していない

各種の未指定文化財の調査を進め、地域の文化財の全体把握に努める。また、文化 財の適切な維持管理や防災対策等が進むよう、文化財所有者や関係機関との連携に 努める



奥之院の墓所(松平秀康及び同母霊屋)



奥之院の墓所(豊臣家墓所)



相ノ浦地区所在社寺建築



細川地区所在駅舎(紀伊細川駅)



建造物調査状況

進捗評価シート (様式1-4)

評価軸④-2 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 口実施済 文化財の修理(整備)に関する取り組み ■実施中 □未着手

文化財の修理は、過去の改変履歴や調査記録などの活用と、新たな調査研究に基づき実施することを基本と 計画に記載 する。整備にあたっては、関係機関の指導を仰ぎつつ、それらと連携して適切な整備と修理を実施する。 している内容 また、各種補助制度を積極的に活用するとともに、民間企業等の支援や連携の推進を図っていくものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の修理としては、1件の建造物(国の登録有形文化財)の修理と3件の美術工芸品(重要文化財)の修理の支援を行った。また、次年度の文化財修理等が円滑に実施できるよう所有者や関係機関と綿密な調整を行った。これにより、文化財の適切な保存活用に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	非常に多くの文化財が存在するため、各文化財の劣化状況等の把握に努め、計画的に修理が実施できるよう、文化財所有者や関係機関との連携に努める



和合庵(国の登録有形文化財)



十巻抄(重要文化財)



四天王立像(重要文化財)

評価軸④-3 文化財の保存又は活用に関する事項		(190-4: 17
	評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況
文化財の防災に関する取り組み		□実施済 ■実施中 □未着手

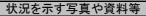
計画に記載している内容

火災報知器や消火設備等の防火設備の設置に努め、防災教育・訓練は文化財の所有者等に対して防災に係る周知啓発に取り組み、所有者・管理者・消防が一体となった防災訓練を実施する。 ・地震への対応としては耐震診断を進め、可能な限り耐震補強工事を実施して毀損・滅失のリスク軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

1月24日に所有者、管理者、消防団、消防署の連携を深めるため、金剛峯寺境内で、約70名が参加し消火訓練を実施した。文化財の防火設備に関しては、所有者や管理者と既存防火設備についての情報共有し、今後設備の更新について指導、耐震対策については、また耐震診断の結果、耐震予備診断結果が良好でなかった文化財を対象として、対処方針を作成し、これにより、文化財の防災意識の向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	所有者、管理者、消防団、消防署と連携し、設備の把握や、防災訓練を実施することで、適切な文化財の防災体制が維持できるよう、文化財関係者の連携に努める。





文化財防火デー 消火訓練

(様式1-4) 進捗評価シート

(4)-4

文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況

文化財の保存及び活用の普及・啓発に関する取り組み

口実施済 ■実施中

口未着手

町内外の人々を対象として実施する普及・啓発は、案内板などの設置や文化財パンフレット等の配布とともに、 計画に記載 近隣市町や文化財所有者・管理者と協働で参詣道散策や指定文化財の公開等のイベントを開催、町民を対象 している内容とした普及・啓発は、広報誌や各種イベント開催などを通じて文化財に対する意識の向上を図り、文化財への 愛着を育んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

世界遺産の高野参詣道を活用したウォーキングイベントを民間団体と共同で実施し、延べ800名以上の参加があった。ま た広報誌で月1回の文化財関係記事の連載を実施し、町民の文化財に対する意識向上に寄与した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財に関する普及啓発については、様々な年齢層の方々に対応できるものを検討実施していく



町石道 参詣登山



(様式1-4)

進捗評価シート 評価軸④-5 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 □実施済

埋蔵文化財の取り扱いに関する取り組み

■実施中 口未着手

埋蔵文化財包蔵地において土木工事等を行う際、届出・通知の必要を周知し、その義務を徹底するとともに、 計画に記載 該当する場合は開発事業者との事前調整を経て、試掘・確認調査、発掘調査などで現状把握を行い、その調 本会理をおよりに、適切な保護性異され際は関係を表しています。 査結果をもとに、適切な保護措置を和歌山県教育委員会に指導・助言を受けながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

埋蔵文化財の取り扱いについては、手引きを作成して配布することで、埋蔵文化財包蔵地での土木工事等を行う際の手 続きを開発事業者に示している。また、10件の埋蔵文化財発掘の届出・通知があり、特に事前の現状把握が必要な場合 |については、確認調査を実施している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
	埋蔵文化財包蔵地での立会調査や確認調査のデータを蓄積することで、開発行為の際に適切な埋蔵文化財の保護できるように努める。
状況を示す写真や資料等	



埋蔵文化財確認調査 重機掘削状況



埋蔵文化財確認調査 土層断面確認状況

(様式1-4)

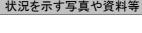
進捗評価シート 評価軸④-6 文化財の保存又は活用に関する事項 評価対象年度 令和元年度 項目 現在の状況 口実施済 各種団体の状況及び今後の体制整備に関する取り組み ■実施中 口未着手

計画に記載 文化財の保存・活用に取組んでいる団体等と連携し、これらの団体の活動の活性化を図るため、情報提示や している内容人材育成等を支援し、地域住民を主体とした文化財保護活動を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

補助金により、2つの民俗芸能活動団体の活動の補助、多数の文化財を管理する公益財団公人高野山文化財保存会の 年間3回の企画展等のチラシ作成、霊宝館だより(年4回発行)の作成等の文化財活用に関する広報活動に対して補助を 行うことで団体の活動を支援し活性化に努めている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	





天狗の舞保存会 活動状況



『霊宝館たより』高野山文化財保存会発行

<u>進捗評価シート (様式1-5)</u>

西軸⑤−1 果・影響等に関する報道 評価対象年度 令和元年度 年月日 報道等タイトル 掲載紙等 高野町歴史まちづくり きょう、国が計画認定 H31.1.24 朝日新聞 H31.2.1 県内4番目・高野町が歴史的風致維持向上計画の認定都市に!! 和歌山時報 風致維持向上計画を目指す 国が正式認定 H31.2.11 高野山時報 H31.1.24高野町歴史的風致維持向上計画認定について H31.3.7 FM橋本 高野町カード型パンフ配布 R1.7.2 産経新聞 高野山で文化財パレード(TV) NHK和歌山県のニュース R2.1.24 「文化財を守ろう」高野山で消火訓練 R2.1.27 朝日新聞 高野山で消火訓練!国宝不動堂などを守る~小学生見学 高野山麓橋本新聞 R2.1.27

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高野町歴史的風致維持向上計画の認定、関連する事項などが報道されることにより町内外へのアピールと高野町の歴史 まちづくりの周知につながった。

□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため新聞記事は掲載しておりません。

評価対象年度

令和元年度

項目

景観に対する住民の満足度

計画に記載 高野山は弘法大師が真言密教の道場として開創された伝統と歴史あるまちであり、聖と俗を隔てる境界に幾している内容 重にも包まれている。高野町民はその歴史、文化を受け継ぐまちなみを守り、美しい景観をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

高野町では平成2年「電線地中化事業」を皮切りに、聖地高野山の景観を取り戻すため、条例整備や修景整備に関する補助事業の実施、町民への修景整備補助制度の創設などの様々な事業を実施し、歴史的な修景整備に取り組んでいる。

平成14年3月「高野町の歴史と文化を活かした街並景観及び自然景観に関する条例」を制定

平成16年7月「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録

平成20年1月景観行政団体に指定

平成20年12月「高野町景観条例」を制定

平成21年3月「高野町景観計画」を策定

平成31年1月「高野町歴史的風致維持向上計画」認定

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	



現在の町なみ

評価対象年度 令和元年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:高野町歴史まちづくり協議会

高野町歴史まちづくり協議会(平成31年2月27日)

(コメントの概要)

(1) 高野町歴史的風致維持向上計画認定変更(案) について

変更箇所について事業位置には変更箇所が記載されているが、事業概要にはその内容が反映されていないが問題はないのか?

(2) 高野町歴史的風致維持向上計画進捗評価(案) について

大名墓の調査については、町単独で進めているのか? 金剛峯寺が蓄積したデータもあったと思いますが一緒になるのか?



高野町歴史まちづくり協議会の様子

(今後の対応方針)

- ・事業概要にはすべての事業を掲載する必要はなく、掲載のスペースの都合で代表的なものの写 真を掲載しているため問題はないと考えている。
- 事業については金剛峯寺とタイアップして共同で調査を進める方針である。